Ready Steady Go!
Ready Go JAPAN!!

レディー・ステディー・ゴー！
レディー・ゴー・ジャパン！！
月刊ＷＥＢマガジン
第7号　2009年11月号
発行：ＲＧＪチーム事務局
編集：事務局・須藤むつみ
※掲載内容の無断転用を禁止します。

ツール・ド・おきなわレースで無事シーズン終了

今年発足したレディー・ゴー・ジャパンチームの最初のシーズンは、今回出場の「ツール・ド・おきなわ2009」でフィナーレを迎えようとしていた。そんなレース前日十一月十七日の土曜日、朝六時に関東班は羽田空港に集まり、関西班は関西空港に集合。ここから飛行機に乗って一路、南国・沖縄は那覇空港に向かう。そして空港で待ち合わせをして三台のレンタカーに分乗、イザ！今度は名護市に移動開始。

車の中は、今大会の「女子国際ロードレース八十五ｋｍ」に出場するＲＧＪ堀　友紀代、松田千裕、福本千佳、下久保初菜、佐藤咲子の五名がテンション高めで賑やか！那覇市内から名護市までの約七十ｋｍ（約一時間半ぐらい）の移動で盛り上がるガールズトークは川越工業高校自転車部と行動を共にしていたため翌日曜日に合流）。

途中の伊芸ＰＡで昼食に沖縄名物「ソーキそば」を堪能、昼過ぎには名護市の市民会館に無事到着。レース受付を済ませて、須藤監督が運転の伴走車とともにコース試走に出発！そして試走から戻ると、メカニックの栗田氏が手際よく各選手の機材を細かくチェック。なんと千葉から工具一式を持ち込んでの作業！

この後、大会開会式に出席。夜は宿泊ホテルで、スポーツバルムを投入。このオイル、滑りがよくて、あまりチカラを加えなくてもイイ感じでマッサージ完了な感覚が分かる。こうして準備万端となったＲＧＪ選手たち。ゆっくり休んで、明日に備える。

翌八日。朝五時ホテルロビーに集合のＲＧＪチーム選手たちは、朝食としてホテルにご用意いただいたサンドウイッチを手に、国際女子レース八十五ｋｍのスタート地点である「辺戸岬」まで運んでくれるバスの発車地点・オクマリゾートホテルまで移動。ここで、ようやくＲＧＪ武田選手と合流だ。そして朝七時ごろには、オクマリゾートに無事に到着。最終の機材チェックをして自転車を主催者用意のトラックに預け、選手六名は主催者用意バスに乗り込む。

そこから三台のレンタカーが、それぞれの配置に須藤監督の指示で移動開始！須藤監督は国際女子レースのスタート地点に、メカニック栗田氏は補給地点であるレーススタート地点から六十五ｋｍの場所に、そしてＲＧＪチームの活動を支援するＮＰＯ法人Ｊ－ＢＲＡＩＮの副会長・白熊氏と、会長・須藤むつみはゴール地点の名護市市民会館へ。なお今回は、毎度おなじみ江崎グリコの「ＣＣＤ」と「エキストラブースター」。さらに仕上げのマッサージオイルとしてスポーツバルム。これで準備は万端。九時五十分ごろに国際女子レースがスタートした。

そして須藤と白熊は、ゴールラインの少しの手前、見通しよい所を陣取る。ここは国際ロード男子のゴールも迫っていたため凄い人数の観客が、ぎゅうぎゅう詰め状態！そんな状況の中、遠くから様子を見つつ、男子ゴールを観戦。さらに、その後に続けて市民二百ｋｍの先頭ゴール。そしていよいよ国際女子のゴール・・・。

女子選手の先頭集団のトップに、ウォン・ワン・ユイ・ジェイミー（香港）の姿、そして奥にＲＧＪ福本千佳選手の姿が！そしてゴール、福本千佳、六位入賞！出場したジュニア女子の中ではブッチギリのトップ。この素晴らしい結果にゴールで大騒ぎのチームと法人スタッフ）。

そして嬉しいサプライズだったのが、佐藤咲子選手の走り。トップから八分遅れの二十位でゴールを果たした。２００９シーズンのほとんどを、膝の靭帯断裂で棒に振ってしまったサキコ選手。しかし、バスケットで鍛えたカラダは自転車でも、その底ヂカラを発揮した。

レース直後にはＲＧＪ選手を集めて、記念の集合写真撮影。ちゃんと御顔を整えて、さて撮影！という時に「どもー」と声が。俳優の鶴見辰吾氏！ＲＧＪチームのことをナントご存知で、さらに気さくに写真撮影に応じていただいた。なお鶴見氏は市民二百ｋｍレースに出場し百四十七位で完走。氏の自転車好きもココまで来ると感嘆の一言だ。

表彰・閉会式会場では、すっかり寛ぐＲＧＪ選手達。無事に今シーズンを無事に終えて嬉しそう。しばらくして会場では乾杯の音頭が！「かりーさびらー！（沖縄の方言で乾杯の意）」「かりー！」

福本千佳選手は六位に入賞したのだが、この大会でのステージ表彰は三位まで。この表彰式を眺めながら、来年はこの表彰ステージにＲＧＪチーム選手を絶対に乗せたい！と心から願った。

このレースをもってＲＧＪチームの２００９レースシーズンは無事に大きなケガなく終了しました。これもファン皆様のご声援と、ご協賛各社、チームサプライヤーのご尽力のおかげであります。一年間ありがとうございました！

国際女子ロードレースでゴールに飛び込む福本選手。エリート選手に混じり、ジュニア女子では断トツ！

二代目自転車名人でもある俳優の鶴見辰吾氏と。左より松田・堀・福本・下久保・武田・佐藤・鶴見氏

上・試走を終えて、選手と確認する須藤監督。奥ではRGJ監督と作業する栗田メカニックの姿。左・ツール・ド・おきなわのメイン会場ゲート。南国特有の暖かい歓迎！